

対象校No. 71

注4

学校コード F116110105312

注3

設置年度

令和

6年度

事前相談

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

注2

富山大学大学院 医薬理工学環（博士後期課程）

【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

国立大学法人富山大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部 企画評価課
職名・氏名	事務職員 柳瀬 かおり
電話番号	076-445-6241
（夜間）	076-445-6241
e-mail	sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

医薬理工学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 富山大学

(2) 大 学 名

富山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒930-8555

富山県富山市五福3190番地（五福キャンパス／大学本部）

〒930-0194

富山県富山市杉谷2630番地（杉谷キャンパス）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)		
学 環 長	(ホソヤ ケンイチ) 細谷 健一 (令和4年4月)		
副学環長	(タバタ トシヒデ) 田端 俊英 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
研究科等連係課程実施基本組織 医薬理工学環 （博士後期課程） 博士（薬科学） 博士（神経科学） 博士（医工学）	医学関係 薬学関係 理学関係 工学関係	3年	12人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	36人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 （控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	人 — 〔 — 〕 〔 — 〕	12人 若干名 12 〔 — 〕 〔 若干名 〕		春季入学以外の 学期区分を設ける 予定	0.50倍	一倍	
志願者数	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	6 〔 — 〕 〔 1 〕					
受験者数	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	6 〔 — 〕 〔 1 〕					
合格者数	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	6 〔 — 〕 〔 1 〕					
B 入学者数	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	— 〔 — 〕 〔 — 〕	6 〔 — 〕 〔 1 〕					
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		0.50					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	6 [1] (－)	 [] ()	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	6 [1] (－)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [—]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ (—)内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	6 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医薬理工学環>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					の 専 任 教 員 を 除 く 手 外	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通学 科	学際融合発表演習Ⅰ	1③	1			40	20	4	3			
	学際融合発表演習Ⅱ	2③	1			40	20	4	3			
	小計(2科目)	—	2	0	0	40	20	4	3	0	0	
学環共 通科目	先端研究企画演習	1②		1		40	15					
	研究インターンシップ	1・2・3通		1		1						
	国際連携実習	1・2・3通		1		1						
	日本語・日本文化	1・2・3通			4						1	
	小計(4科目)	—	0	3	4	40	15	0	0	0	1	
専門科 目 創薬・製 剤工学	創薬・製剤工学特論	1②		1		11	8	1				
	創薬・製剤工学特別演習	K1～3②		2		11	7	1				
	創薬・製剤工学特別実習	2③・2④		1		11	7	1				
	創薬・製剤工学特別研究	1～3通		10		11	7	1				
	小計(4科目)	—	12	2	0	11	8	1	0	0	0	
専門科 目 応用和漢 医学学	国際応用和漢医学学特論	1④		1		11	5	1				
	応用和漢医学学特別演習	K1～3②		2		11	5	1				
	応用和漢医学学特別実習	2③・2④		1		11	5	1				
	応用和漢医学学特別研究	1～3通		10		11	5	1				
	小計(4科目)	—	12	2	0	11	5	1	0	0	0	
専門科 目 認知・情 動脳科	認知・情動脳科学特論	1①		1		13	6	3	3			
	認知・情動脳科学特別演習	K1～3②		2		13	5	2	3			
	認知・情動脳科学特別実習	2①		1		13	5	2	3			
	認知・情動脳科学特別研究	1～3通		10		13	5	2	3			
	小計(4科目)	—	12	2	0	13	6	3	3	0	0	
メディ カル デザ イン プロ グラ ム	メディカルデザイン・アンブレラトレーニング特論	1①		1		1						
	医療制度と医療経営特論	1①	1								5	
	生体運動制御特論	1③		1		1						
	医用光工学特論	1①		1		1						
	臨床情報医学工特論	1③		1		1						
	医用情報計測学特論	1③		1		1						
	医用超音波計測学特論	1②		1		1						
	生体情報処理特論	1④		1		1						
	人間情報インタラクション特論	1②		1		1						
	応用計測システム特論	1③		1		1						
	画像計測システム特論	1③		1		1						
	生物流体力学特論	1②		1		1						
	脳・神経システムダイナミクス特論	1①		1		1						
	材料塑性加工工学特論	1④		1		1						
	循環動態生理特論	1①		1		1						
	泌尿器腫瘍学特論	1③		1		1						
	血液腫瘍学特論	1③		1		1						
	メディカルデザイン特別演習	K1～3②	1			10	4	1				
	メディカルデザイン特別研究	1～3通	10			10	4	1				
	小計(19科目)	—	12	16	0	10	4	1	0	0	5	
合計(37科目)			—	50	25	4	40	22	5	3	0	6

修了要件及び履修方法

(創薬・製剤工学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、創薬・製剤工学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び創薬・製剤工学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(応用和漢医学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、応用和漢医学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び応用和漢医学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(認知・情動脳科学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、認知・情動脳科学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び認知・情動脳科学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(メディカルデザインプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、メディカルデザインプログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目から1単位、学環共通科目及びメディカルデザインプログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					の 専 任 教 員 を 除 く 手 外	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共 大 目 通 学 科 院	学際融合発表演習Ⅰ	1③	1			40	19	4	4			
	学際融合発表演習Ⅱ	2③	1			40	19	4	4			
	小計(2科目)	—	2	0	0	40	19	4	4	0	0	
学 環 共 通 科 目	先端研究企画演習	1②		1		40	15		1			
	研究インターンシップ	1・2・3通		1		1						
	国際連携実習(未開講)	1・2・3通		1		1						
	日本語・日本文化(未開講)	1・2・3通			4						1	
	小計(4科目)	—	0	3	4	40	15	0	1	0	1	
ブ ロ グ ラ ム 創 業 ・ 製 剤 工 学	専門科目 創業・製剤工学特論	1②		1		12	8	1	1			
	創業・製剤工学特別演習	3①～3②		2		12	7	1	1			
	創業・製剤工学特別実習	2③・2④		1		12	7	1	1			
	創業・製剤工学特別研究	1～3通		10		12	7	1	1			
	小計(4科目)	—	12	2	0	12	8	1	1	0	0	
ブ ロ グ ラ ム 応 用 和 漢 医 薬 学	専門科目 国際応用和漢医学特論	1④		1		12	4	1	1			
	応用和漢医学特別演習	3①～3②		2		12	4	1	1			
	応用和漢医学特別実習	2③・2④		1		12	4	1	1			
	応用和漢医学特別研究	1～3通		10		12	4	1	1			
	小計(4科目)	—	12	2	0	12	4	1	1	0	0	
学 認 知 ・ 情 動 脳 科 目 ブ ロ グ ラ ム	専門科目 認知・情動脳科学特論	1①		1		13	5	3	4			
	認知・情動脳科学特別演習	3①～3②		2		13	5	2	4			
	認知・情動脳科学特別実習	2①		1		13	5	2	4			
	認知・情動脳科学特別研究	1～3通		10		13	5	2	4			
	小計(4科目)	—	12	2	0	13	5	3	4	0	0	
メ デ イ カ ル デ ザ イ ン プ ロ グ ラ ム	専門科目 バイオシステムデザイン・フレキシブルデザイン/特論(未開講)	1①		1		1						
	医療制度と医療経営特論	1①	1								5	
	生体運動制御特論	1③		1								
	医用光工学特論(未開講)	1①		1		1						
	臨床情報医学特論	1③		1								
	医用情報計測学特論	1③		1		1						
	医用超音波計測学特論(未開講)	1②		1			1					
	生体情報処理特論	1④		1		1						
	人間情報・インタラクション特論(未開講)	1②		1		1						
	応用計測システム特論	1③		1		1						
	画像計測システム特論	1③		1			1					
	生物流体力学特論	1②		1				1				
	脳・神経システムダイナミクス特論(未開講)	1①		1		1						
	材料塑性加工学特論	1④		1		1						
	循環動態生理学特論(未開講)	1①		1		1						
	泌尿器腫瘍学特論	1③		1		1						
	血液腫瘍学特論	1③		1		1						
	メディカルデザイン特別演習	3①～3②		1		11	4	1	1			
	メディカルデザイン特別研究	1～3通		10		11	4	1	1			
	小計(19科目)	—	12	16	0	11	4	1	1	0	5	
合計(37科目)			—	50	25	4	40	20	5	4	0	6

修了要件及び履修方法

(創薬・製剤工学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、創薬・製剤工学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び創薬・製剤工学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(応用和漢医学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、応用和漢医学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び応用和漢医学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(認知・情動脳科学プログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、学環共通科目から「先端研究企画演習」1単位、認知・情動脳科学プログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目及び認知・情動脳科学プログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。
(メディカルデザインプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位、メディカルデザインプログラム専門科目から必修科目12単位、学環共通科目から1単位、学環共通科目及びメディカルデザインプログラム専門科目から1単位以上を修得し、合計16単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・ 令和6年度より改正後大学院設置基準(令和4年10月1日施行)を適用。

・ 教員の異動により、「学際融合発表演習Ⅰ」「学際融合発表演習Ⅱ」「先端研究企画演習」「創薬・製剤工学特論」「創薬・製剤工学特別演習」「創薬・製剤工学特別実習」「創薬・製剤工学特別研究」「国際応用和漢医薬学特論」「応用和漢医薬学特別演習」「応用和漢医薬学特別実習」「応用和漢医薬学特別研究」「認知・情動脳科学特論」「認知・情動脳科学特別演習」「認知・情動脳科学特別実習」「認知・情動脳科学特別研究」「メディカルデザイン特別演習」「メディカルデザイン特別研究」の教員配置を変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
11 科目	25 科目	1 科目	37 科目	11 科目 [0]	25 科目 [0]	1 科目 [0]	37 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	623,443 m ²	— m ²	— m ²	623,443 m ²				
	そ の 他	90,179 m ²	— m ²	— m ²	90,179 m ²				
	合 計	713,622 m ²	— m ²	— m ²	713,622 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途変更のため (6)			
		228,457 230,943m ² (228,457 230,943 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	228,457 230,943m ² (228,457 230,943 m ²)				
(3) 講義室等・新設研究科等の 専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室	※専任教員研究室を除き、学環 単位での特定不能なため、大学 全体の数 令和6年4月 専任教員 の異動のため (6)				
	129 室	650 室 678 室	239 室	77 79 室					
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	医薬理工学環 ※学環単位での特定不能 なため、大学全体の数	1,329,010 [417,304] 1,328,175 [418,261] (1,329,010 [417,304]) -(1,328,175 [418,261])	4,742 [1,252] (4,742 [1,252])	36,719 [19,482] 68,409 [21,405] (36,719 [19,482]) -(68,409 [21,405])	13,889 [12,305] 45,487 [14,227] (13,889 [12,305]) -(45,487 [14,227])	39 37 (39) (37)	0 (0)		
	計	1,329,010 [417,304] 1,328,175 [418,261] (1,329,010 [417,304]) -(1,328,175 [418,261])	4,742 [1,252] (4,742 [1,252])	36,719 [19,482] 68,409 [21,405] (36,719 [19,482]) -(68,409 [21,405])	13,889 [12,305] 45,487 [14,227] (13,889 [12,305]) -(45,487 [14,227])	39 37 (39) (37)	0 (0)		
(5) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			—					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	富 山 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
人文学部	4	188	3年次7	748	-	1.06	1.02	-	昭和52	-		
人文学科	4	188	3年次7	748	学士(文学)	1.06	1.02	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	令和4年度から入学定員変更(170→188)	
教育学部	4	85	-	255	-	1.03	-	-	令和4	-		
共同教員養成課程	4	85	-	255	学士(教育学)	1.03	-	-	令和4	富山県富山市五福3190番地		
人間発達科学部									平成17	-		
発達教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	令和4年度入学生より学生募集停止	
人間環境システム学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成17	同上	令和4年度入学生より学生募集停止	
経済学部	4	335	3年次10	335	-	1.01	-	-	昭和28	-		
経済経営学科	4	335	3年次10	335	学士(経済経営学)	1.01	-	-	令和6	富山県富山市五福3190番地		
(昼間主コース)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度入学生より学生募集停止	
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
経営法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
(夜間主コース)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度入学生より学生募集停止	
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
経営法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
理学部	4	208	3年次4	208	-	1.04	-	-	昭和52	-		
理学科	4	208	3年次4	208	学士(理学)	1.04	-	-	令和6	富山県富山市五福3190番地		
数学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
物理学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
化学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
生物学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
自然環境科学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成5	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
医学部												
医学科	6	105	2年次5	655	学士(医学)	1.01	0.99	令和6	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	入学定員変更(95→105) ※臨時定員増継続	
看護学科	4	80	3年次10	340	学士(看護学)	0.96	-	-	平成5	同上		
薬学部												
薬学科	6	70	-	375	学士(薬学)	1.04	1.02	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年度から入学定員変更(55→70)	
創薬科学科	4	35	-	155	学士(薬科学)	1.08	1.02	-	平成18	同上	令和4年度から入学定員変更(50→35)	
工学部	4	395	3年次17	1,554	-	1.06	1.00	-		-		
工学科	4	395	3年次17	1,554	学士(工学)	1.06	1.00	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度から入学定員変更(380→395)	
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年度入学生より学生募集停止	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考
芸術文化学部	4	110	-	440	-	1.07	1.02	-	平成17	-	
芸術文化学科	4	110	-	440	学士(芸術 文化学)	1.07	1.02	-	平成17	富山県高岡市二上 町180番地	
都市デザイン学部	4	159	3年次3	623	-	1.08	1.03	-	平成30	-	
地球システム科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.10	1.05	-	平成30	富山県富山市五福 3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	54	3年次1	204	学士 (工学)	1.10	1.03	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更 (40→54)
材料デザイン工学科	4	65	3年次2	259	学士 (工学)	1.06	1.02	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更 (60→65)
大学全体	-	1,770	2年次5 3年次51	7,527	-	-	-	-	-	-	

5 教育研究実施組織の状況

<医薬理工学環>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 裕之 <令和6年4月> 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	井ノ口 馨 <令和6年4月> 博士(農学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	伊藤 哲史 <令和6年4月> 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	袴田 優子 <令和6年4月> 博士(教育学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究

【令和6年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一條 裕之 <令和6年4月> 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	井ノ口 馨 <令和6年4月> 博士(農学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	伊藤 哲史 <令和6年4月> 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	袴田 優子 <令和6年4月> 博士(教育学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高雄 啓三 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	西丸 広史 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	絹川 弘一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 循環動態生理特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	北村 寛 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 泌尿器腫瘍学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	佐藤 勉 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 血液腫瘍学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高雄 啓三 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	西丸 広史 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	絹川 弘一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 循環動態生理特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	北村 寛 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 泌尿器腫瘍学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	佐藤 勉 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 血液腫瘍学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	櫻井 宏明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	教授	櫻井 宏明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	松谷 裕二 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	教授	松谷 裕二 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	宗 孝紀 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	教授	宗 孝紀 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	矢倉 隆之 ＜令和6年4月＞ 薬学博士	専	教授	矢倉 隆之 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	中野 実 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	中野 実 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水口 峰之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	酒井 秀紀 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	新田 淳美 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	加藤 敦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	庄司 翼 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水口 峰之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	酒井 秀紀 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	教授	新田 淳美 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	加藤 敦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	庄司 翼 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森田 洋行 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	東田 千尋 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	早川 芳弘 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	中川 嘉 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	小泉 桂一 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森田 洋行 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	東田 千尋 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	早川 芳弘 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	中川 嘉 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	小泉 桂一 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	井川 善也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	専	教授	井川 善也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	望月 貴年 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)			
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			
専	教授	松田 恒平 ＜令和6年4月＞ 理学博士	専	教授	松田 恒平 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	唐原 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	専	教授	唐原 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	黒澤 信幸 ＜令和6年4月＞ 薬学博士	専	教授	黒澤 信幸 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	阿部 仁 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	教授	阿部 仁 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	教授	田端 俊英 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	専	教授	田端 俊英 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 研究インターンシップ 国際連携実習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究 メディカルデザイン・アントレプレナーシップ特論 生体情報処理特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 研究インターンシップ 国際連携実習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究 メディカルデザイン・アントレプレナーシップ特論 生体情報処理特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	高 尚策 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	高 尚策 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	教授	片桐 崇史 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	片桐 崇史 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用光工学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用光工学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	笹木 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	笹木 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 応用計測システム特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 応用計測システム特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	野澤 孝之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	専	教授	野澤 孝之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 人間情報インタラクション特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 人間情報インタラクション特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	長谷川 英之 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	長谷川 英之 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用情報計測学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用情報計測学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	川原 茂敬 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	教授	川原 茂敬 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究 脳・神経システムダイナミクス特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究 脳・神経システムダイナミクス特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	教授	會田 哲夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	専	教授	會田 哲夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 材料塑性加工学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 材料塑性加工学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	准教授	中島 敏 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)			
		認知・情動脳科学特論			
専	准教授	野本 真順 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)	専	准教授	野本 真順 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉田 知之 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	専	准教授	吉田 知之 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	准教授	高橋 努 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	専	准教授	高橋 努 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	准教授	山本 誠士 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	専	准教授	山本 誠士 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	准教授	赤沼 伸乙 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)	専	准教授	赤沼 伸乙 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	千葉 順哉 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	専	准教授	千葉 順哉 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究			学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田 淵 明子 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	准教授	岡 田 康太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(薬科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	當 銘 一 文 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	AWALE SURESH ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	渡 辺 志 朗 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	金 俊 達 ＜令和6年4月＞ 博士(生物工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田 淵 明子 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	准教授	岡 田 康太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(薬科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	AWALE SURESH ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	渡 辺 志 朗 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	金 俊 達 ＜令和6年4月＞ 博士(生物工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中路 正 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	伊野部 智由 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		創薬・製剤工学特論
専	准教授	石山 達也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	迫野 昌文 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	高崎 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	戸田 英樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 生体運動制御特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中路 正 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	伊野部 智由 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		創薬・製剤工学特論
専	准教授	石山 達也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	迫野 昌文 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究
専	准教授	高崎 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究
専	准教授	戸田 英樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 生体運動制御特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大嶋 佑介 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 臨床情報工医学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	准教授	寺林 賢司 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 画像計測システム特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	准教授	長岡 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(医工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用超音波計測学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	講師	樋口 悠子 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	講師	笹林 大樹 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		認知・情動脳科学特論
専	講師	松村 茂祥 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大嶋 佑介 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 臨床情報工医学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	准教授	寺林 賢司 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 画像計測システム特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	准教授	長岡 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(医工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 医用超音波計測学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	講師	樋口 悠子 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	講師	笹林 大樹 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		認知・情動脳科学特論
専	講師	松村 茂祥 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中町 智哉 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	講師	加瀬 篤志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 生物流体力学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	助教	中村 友也 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	助教	松本 惇平 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	助教	瀬戸川 剛 ＜令和6年4月＞ 博士(神経科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中町 智哉 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	講師	加瀬 篤志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 生物流体力学特論 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
専	助教	中村 友也 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	助教	松本 惇平 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究
専	助教	瀬戸川 剛 ＜令和6年4月＞ 博士(神経科学)
		学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関根 道和 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 医療制度と医療経営特論
兼任	教授	林 篤志 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 医療制度と医療経営特論
兼任	教授	ヨフコバ四位エレオノラ ＜令和6年4月＞ 博士(学術) 日本語・日本文化
兼任	教授	両角 良子 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学) 医療制度と医療経営特論
兼任	教授	橋口 賢一 ＜令和6年4月＞ 修士(法学) 医療制度と医療経営特論
兼任	准教授	廣橋 祥 ＜令和6年4月＞ 修士(経営学)※ 医療制度と医療経営特論
教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 門	助教	大田 美香 ＜令和6年4月＞ 博士(栄養学) 学際融合発表演習Ⅰ 学際融合発表演習Ⅱ 先端研究企画演習 創薬・製剤工学特論 創薬・製剤工学特別演習 創薬・製剤工学特別実習 創薬・製剤工学特別研究 国際応用和漢医薬学特論 応用和漢医薬学特別演習 応用和漢医薬学特別実習 応用和漢医薬学特別研究 認知・情動脳科学特論 認知・情動脳科学特別演習 認知・情動脳科学特別実習 認知・情動脳科学特別研究 メディカルデザイン特別演習 メディカルデザイン特別研究
		関根 道和 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 医療制度と医療経営特論
その他	教授	林 篤志 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 医療制度と医療経営特論
その他	教授	ヨフコバ四位エレオノラ ＜令和6年4月＞ 博士(学術) 日本語・日本文化
その他	教授	両角 良子 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学) 医療制度と医療経営特論
その他	教授	橋口 賢一 ＜令和6年4月＞ 修士(法学) 医療制度と医療経営特論
その他	准教授	廣橋 祥 ＜令和6年4月＞ 修士(経営学)※ 医療制度と医療経営特論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・担当教員の見直しにより、高岡 裕、大田 美香 を専任教員に追加
- ・教員の異動により、望月 貴年、中島 敏、當銘 一文を専任教員から削除

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
- 原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
40	22	5	3	70	0	41	20	5	4	70	0
(41)	(22)	(5)	(3)	(71)	(0)						
研究指導教員数		うち教授数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	研究指導教員数		うち教授数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
55		40		12	3	56		41		12	2
(56)		(41)		(12)	(3)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
40	20	5	4	70	0	40	20	5	4	70	0
[0]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[0]
研究指導教員数		うち教授数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	研究指導教員数		うち教授数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
55		40		12	2	55		40		12	2
[0]		[0]		[0]	[Δ1]	[0]		[0]		[0]	[Δ1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{70}{70} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{70} = \boxed{1.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	望月 貴年	R5.12	必修	学際融合発表演習Ⅰ	①	R5.12 退職のため就任辞退（6）						
				必修	学際融合発表演習Ⅱ	①							
				選択	先端研究企画演習	①							
				選択	認知・情動脳科学特論	①							
				必修	認知・情動脳科学特別演習	①							
				選択	認知・情動脳科学特別実習	①							
				必修	認知・情動脳科学特別研究	①							
2	准教授	當銘 一文	R6.3	必修	学際融合発表演習Ⅰ	①	R6.3 退職のため就任辞退（6）						
				必修	学際融合発表演習Ⅱ	①							
				選択	国際応用和漢医薬学特論	①							
				必修	応用和漢医薬学特別演習	①							
				選択	応用和漢医薬学特別実習	①							
				必修	応用和漢医薬学特別研究	①							
3	准教授	中島 敏	R6.3	選択	認知・情動脳科学特論	①	R6.3 退職のため就任辞退（6）						
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
3	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目				
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目				
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目				
		計	11 科目	計	11 科目	計	0 科目	計	0 科目				

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{70} = 4.28 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

3 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合 計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・やむを得ない事由による専任教員の交代について、学生の履修への影響が最小限となるよう、他の専任教員が同科目を担当している。
- ・専任教員交代について、学生に対してはシラバスや時間割等により周知している。

(注) ・ 上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医薬理工学環>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動を中心とした教育内容改善のための組織的な研修については、医薬理工学環教務委員会が主として所管する所管するものであり、本学環修士課程が設置された令和4年4月1日に同委員会も設置済である。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

医薬理工学環教務委員会について、令和5年度は10回開催し、委員の出席率は平均約81%であった。

c 委員会の審議事項等

医薬理工学環教務委員会の審議事項は次のとおりである。教員の資質の維持向上は（4）に含まれる。

- （1）教務に関すること。
- （2）学生生活に関すること。
- （3）入学者選抜に関すること。
- （4）その他学生の教育に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

医薬理工学環としてのFD活動は実施していないが、医薬理工学環の母体となる学部等や連携協力研究科におけるFD活動に参加している。なお、医薬理工学環における独自の教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）については今後計画・審議する予定である。

b 実施方法

医薬理工学環の母体となる学部等においてFD活動に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 理学部・理工学教育部（理学領域）合同FD研修会 テーマ「生成系AIに関するFD研修会」
- ・ 工学部FD研修会 テーマ「授業に際して意識している事や工夫等について」
- ・ 医学部医学科FD テーマ 医学教育において新たに求められる事項等について
- ・ 薬学部・大学院薬学系部会FD テーマ「新博士課程の教育について」

医薬理工学環担当教員延べ80名が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD活動で得た知見を各教員が担当する授業内容や学生指導の改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては令和4年度以前から全学的に取り組んできており、医薬理工学環博士後期課程においても各ターム末に実施予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート結果は各教務委員会において報告され、今後の授業改善に活かしていく。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に伴い、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行うことで、令和6年4月に医薬理工学環(博士後期課程)を開設した。

開設以降、教育活動は順調に行われていると考えており、引き続き、さらなる充実・発展を目指していく。

なお、人材養成目的や教育課程等に関する要点を記載した当該学環ウェブサイト(博士後期課程)を新たに作成・公開し学生等への周知を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和5年度の自己点検・評価については、令和6年に実施し、令和6年11月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年度に認証評価機関による機関別認証評価を受審予定

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。